

唐桑地域自治会「防災講座」において自主防災組織についての講師を担当しました (2017/12/25)

テーマ：自主防災組織、地域防災活動、地域コミュニティ
場所：気仙沼市唐桑保健福祉センター「燦さん館」

12月25日、気仙沼市唐桑町において、地域の自治会・自主防災組織や住民を対象とした防災講座が行われました。この講座は、企業版ふるさと納税寄付金を活用して気仙沼市が取り組む「津波死ゼロのまちづくり自主防災組織育成・強化事業」の一環としておこなわれたもので、地域住民が主体となった自主防災組織の結成及び育成・強化を図るために企画されました。

当研究所より、安倍祥助手（寄附研究部門）が講師を担当し、「活気ある自主防災組織の在り方」をテーマに、平常時においては子どもから大人・高齢者層まで幅広く参加できる機会や場を考え、いざ災害の時には、住民等の避難誘導や、避難所の運営、避難行動要支援者や災害時要配慮者の支援活動など、自治会・自主防災組織等で取り組めるようになっていただきたい活動を挙げ、平成29年九州北部豪雨の被災地における地域コミュニティの活動事例や教訓などを紹介しながら、話題提供をしました。

このほかに、当研究所には現在、自主防災組織の育成・活性化を支援するため、電話・メール等の相談窓口を開設していることを紹介しました。防災講座の後に、早速具体的なご相談をいただきました。

自主防災組織等の地域防災活動の活性化や、組織の育成に向け、当研究所では引き続き様々な支援に取り組んで参ります。



防災講座での話題提供

文責：安倍 祥（寄附研究部門）